

ECS 判定・記録シート v2

覚醒の考え方・1～300 の判定・評価条件を A4 1枚で確認

覚醒の考え方	自発的な 開眼・発語・合目的動作 のいずれかを確認。開眼だけで判断しません。
--------	--

患者 ID		評価日	
評価者		場所	

評価条件 / 評価前確認	
体位 / 場所	
刺激部位・方法	
鎮静 / 挿管 / 筋弛緩	
左右差・補足	

ECS 判定チェック				
区分	コード	判定の要点	☐	判定根拠・記録メモ
I 桁	1	見当識あり	☐	
I 桁	2	見当識なし / 発語なし	☐	
II 桁	10	呼びかけで覚醒	☐	
II 桁	20	痛み刺激で覚醒	☐	
III 桁	100L	刺激部位へ持っていく / 払いのける	☐	
III 桁	100W	引っ込める / 顔をしかめる	☐	
III 桁	200F	屈曲（脇を閉める）	☐	
III 桁	200E	伸展	☐	
III 桁	300	運動反応なし	☐	
本日の ECS		判定時刻		再評価予定 / 条件

所見 / 申し送りメモ	
比較メモ 例：前回 20 → 今回 100W	自由記載 刺激条件、左右差、瞳孔、呼吸、次回比較条件など

記録のポイント：ECS 値だけでなく、判定根拠・刺激条件・左右差・評価を妨げる要因を短く併記します。